

海外事務所 主な活動報告（令和6年4月）

《ワシントン州事務所》

日本や日系コミュニティの文化などを紹介する第49回シアトル桜祭・日本文化祭が開催された。当事務所は、観光ブースを出展し、兵庫の観光とともに、ひょうごフィールドパビリオンのPRを実施した。

大阪・関西万博に参加予定とする来場者も見られ、ひょうごフィールドパビリオンの認定プログラムの訪問や体験への好意的な声が聞かれた。

また、13日（土）には、シアトル・神戸姉妹都市委員会が実施する浴衣の着付けと連携し、1日で合計400名以上がブースに来場し盛況であった。

引き続きシアトル・神戸姉妹都市委員会等の関係者とも連携しながら、効果的に観光やひょうごフィールドパビリオンのPRを行い、本県への誘客促進に取り組んでまいりたい。



兵庫県ブース

＜シアトル桜祭・日本文化祭での観光PR＞

○日 程 2024（R6）年4月12日（金）～4月14日（日）

○場 所 シアトル・センター

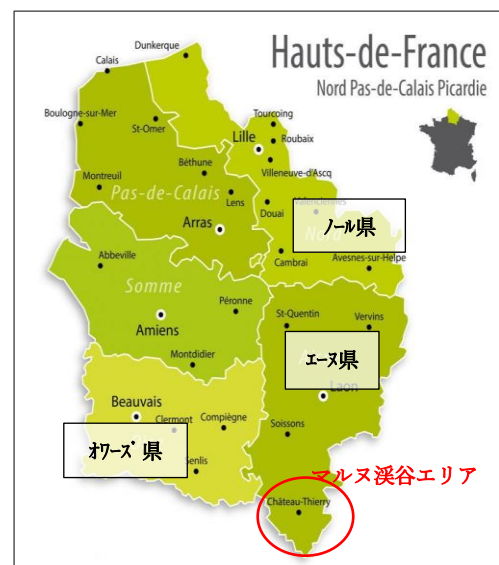
○来場者数 約22,000名、ブース約700名

《パリ事務所》

北フランス地域圏商工会議所が、今年11月に予定する訪日ミッションを含む幅広い経済交流について、同会議所と協議を行った。

日本にある在日フランス商工会議所は、年に一度、フランスに13ある地域圏（Région。州とも訳される）の持ち回りで訪日ミッションを編成し、東京及び関西（京阪神のいずれか）で日仏経済関係者を集めた交流会を開催している。今年は、兵庫県と友好関係にあるノール県を含む北フランス地域圏が訪日ミッションの編成を担い、神戸市内での経済視察や交流会開催を予定している。

同地域圏には、姫路市が姉妹城交流を行うシャンティイ城（オワーズ県）や、シャンパンを産出するシャンパーニュ地方の一部（エーヌ県マルヌ渓谷）が含まれており、日本酒プロモーションでの連携の可能性についても協議を行った。



北フランス地域圏位置図

＜ノール県（北フランス地域圏商工会議所）との交流協議＞

○日 程 2024（R6）年4月19日（金）

○場 所 北フランス地域圏商工会議所（リール市内）

○参加者 国際部長、国際交流担当者、日本担当者

《香港経済交流事務所》

香港と橋で繋がるマカオの総合旅行博であるマカオ国際観光（産業）エキスポ（MITE）が、マカオ特別行政区設立 25 周年記念行事として過去最大規模で盛大に開催された。当事務所は、JNTO 等で構成されたジャパン・パビリオン内へ兵庫県ブースを出展した。「ひょうごフィールドパビリオン」や県内市町の多彩なパンフレットを配布したほか、SNS アカウントへのフォローを促し、今後へと繋がる PR に努めた。

ブースでは、大阪・関西万博への具体的な反応が感じられた。フィールドパビリオンの紹介を受けて万博へ行くなら兵庫県にも行こうと思うといった声のほか、徳島県へも足を延ばしたい、神戸空港が国際化すれば利用したい、県立淡路島公園のニジゲンノモリが気になる、といった声も聞かれた。

マカオは人口 69.5 万人(2022 年)ながら世界有数の富裕都市かつ訪日旅行者数は年間 12.1 万人(コロナ前の 2019 年、上位 20 位のスペイン並)の高密度マーケット(香港・台湾に次ぐ世界第 3 位)であり、地方への定期直行便が充実した香港空港からの訪日者も多い。

今後とも現地拠点としての強みを存分に発揮し、培ってきた関係機関との幅広い連携を最大限に活用しながら、効率的かつ効果的な本県 PR と誘客活動に努めていく。

<マカオ国際観光（産業）エキスポ（MITE）への出展>

- 日 程 2024 (R6) 4月26日(金)～4月28日(日)
- 場 所 ベネチアンマカオ・コタイエキスポ
- 来場者数 約 37 千人 (ブース約 3 千人)



兵庫県ブース